NIE実践報告

1．タイトル：☆コラムづくりで高まる自己表現力

2．学校名

千葉県習志野市立秋津小学校

3．実践者名（代表者名）

山田　芳実

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　61人

6．単元（本時の学習課題）名

「コラムを書こう」

7．目標(狙い)

新聞のコラムから文章構成を学び、自分の意見や考えが読み手によくわかるように、効果的な表現を意識して、短い文章でコラムを書くことができる。

8．評価の視点

自分の意見や考えを明確に表現するため根拠や具体例を提示し、それらを効果的に組み立ててコラムを書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「どちらを選びますか」（教科書教材：教育出版）［国語：14時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教科書教材「討論会をしよう」を用い、説得の仕方や主張の仕方について学ぶ。(6時間)
②教科書や新聞からコラムの特徴や書き方を学び、テーマを決めてコラムを書く。(6時間)
③友達と各々のコラムについて意見を交換し合ったり、コラムについてまとめたりする。(2時間)

(留意点)
・前半は教科書に従い、自分の立場や意見をはっきりさせながら話し合うことが、相手を説得することにつながるという点を中心に学習する。
・長期間、多数の新聞に目を通しておき、子どもの興味をひく話題で文章構成が理解しやすいコラムを、教師が予め選んでおき、授業で活用する。(今回用いたコラムは、2008年9月25日産経新聞朝刊に掲載)
・上記の2つの学習から、相手を説得するコラムとはどういうものかを理解させた上で、文章構成をさせる。
ア.起承転結が明確　イ.短めの文章（教科書の例示は最大500字）　ウ.根拠や具体例を示す

11．児童・生徒の反応、感想・意見

前半の教科書学習の延長であったため、その内容を引き継いで「2つの事柄の一方がよい」という内容でのコラムを書かせた。身近な話題を選ばせたので、どの子も具体例を示し、文章構成を工夫して説得的な文章を書くよう心がけることができた。

12．成果と課題

作文量が5年生としては少ない(原稿用紙1枚以内に限定)ため、全体の構成がつかみやすく、作文が苦手な子にも取り組みやすかった。具体例を入れることで読み手を説得する文章に近づくということを、理解させることができた。約1ヶ月、小中学生向けのものも含めて8紙の朝夕刊から適当なコラムを捜したが、なかなか見つからなかった。「新聞を手に取らせる」「新聞を参考にさせる」ような学習ならまだしも、「新聞から詳細な内容や構成を読み取らせる」ような学習には、今回のように長期間の周到な準備が必要な場合もある。